

外部仕上表

屋根	下地コンクリート金ゴテ シート防水仕上 厚1.2 <sup>h</sup> アルミ防水押えシーリング 断熱材20 <sup>h</sup> (A種押出法ポリスチレンフォーム保温板1種b)
庇・軒裏	見付：下地コンクリート打放し補修の上 吹付タイル アルミ防水押えシーリング 軒裏：下地コンクリート打放し補修の上 吹付タイル
外壁	下地コンクリート打放し補修の上 吹付タイル (一部タイル張り)
水腰	下地コンクリート打放し補修の上 吹付タイル
階段	手摺外側：下地コンクリート打放し補修の上 吹付タイル 手摺内側・上裏：下地コンクリート打放し補修の上 吹付タイル 蹴上・踏面：防水モルタル金ゴテの上 長尺シート貼り
廊下 バルコニー	手摺外側：下地コンクリート打放し補修の上 吹付タイル 手摺内側、揚裏：下地コンクリート打放し補修の上 吹付タイル 各階バルコニー床：防水モルタル金ゴテ (目地入) ・ 各階廊下床：防水モルタル金ゴテ (目地入) の上 長尺シート貼り
樋	屋根～ルーフトレインφ75 横引きドレインφ75 廊下～フロアドレインφ75 ベランダ～中継ドレインφ75 縦樋～VU-φ75 VP 呼樋～VU-φ50 VP
建具	玄関ドア：建築基準法施行令第112条に規定する特定防火設備 (常時閉鎖式) 建告1369号、建告2564号 (ポスト等はなしとする) サッシ (カラー)：アルミニウム合金製 → 防火設備 認定番号 EB-2496, EB-1263-2, EB-1477-2, EB-1535 PSドア：スチールドア
塗装	鉄部 OP

屋根マンホール	角型600x600 (ステンレス製) 南京錠付 タラップ3段
ベランダ隔板	アルミ枠 (H800) 厚5.0 <sup>h</sup> フレキシブル板EP (避難ステッカー貼)
室名札	室名札 (アルミ製) 125 x 210
掲示板	
集合郵便受箱	集合郵便受 (ステンレス ヨコ型 15戸) / 宅配BOX
物干金物	アルミ製 *壁付け可動式 / 室内物干金物
エアコン用アンカー	
エアコン用スリーブ	VU φ75 アルミキャップ付
階段手摺	ビニルハンドレール
天井裏換気孔	ステンレス製 φ50エルボ (防虫網付)
棟名表示	装飾銘板 (施主打合せ後設置) : LED照明内蔵 (寸法については要打合せ)
BS・CSアンテナ設置	有り 地デジアンテナ設置：有り インターネット対応配管：有り
カーテンレール取付	有り
インターホン	有り (カラーモニター付)
オートロック	有り 防犯カメラ用配管：有り *位置等打合せ
給湯設備	ガス給湯器 (都市ガス仕様) / 追い炊き機能：有り / 浴室乾燥機能：無し
ゴミ収集所	コンクリートブロック5段積み 床：土間コンクリート ※排水口設置
エントランス	床：下地コンクリート打放しの上 タイル貼り ※要打合せ 壁：下地コンクリート打放しの上 タイル貼り ※要打合せ
駐輪場	駐輪場22台 (平置き7台+スライド式15台)、バイク置場3台
侵入防止柵	1階共用廊下

耐火リスト

鉄筋コンクリート造 3階建 (壁式構造) 耐火建築物			構造断面図
外壁 (耐力壁)	鉄筋コンクリート造 厚180・200 建告1399号第1-1-イ	1時間	
間仕切壁 (耐力壁)	鉄筋コンクリート造 厚200 建告1399号第1-2-イ	1時間	
床	鉄筋コンクリート造 厚150 建告1399号第3-1-イ	1時間	
梁	鉄筋コンクリート造 厚180・200 建告1399号第4-1-イ	1時間	
屋根	鉄筋コンクリート造 厚150 建告1399号第5-1	30分間	
階段	鉄筋コンクリート造 建告1399号第6-1	30分間	



横浜市都筑区佐江戸町198 TEL (045) 929-0150  
株式会社 クラスト横浜支店 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第18016号  
一級建築士登録 第239833号 齊藤 徹儒

製図	設計月日	工事番号	工事名	図名	仕上表(1)	図面番号
一級建築士	訂正月日	10146	(仮称)株ヴァーダントM様共同住宅新築工事	縮尺	外部・備考・防火リスト	A / 2

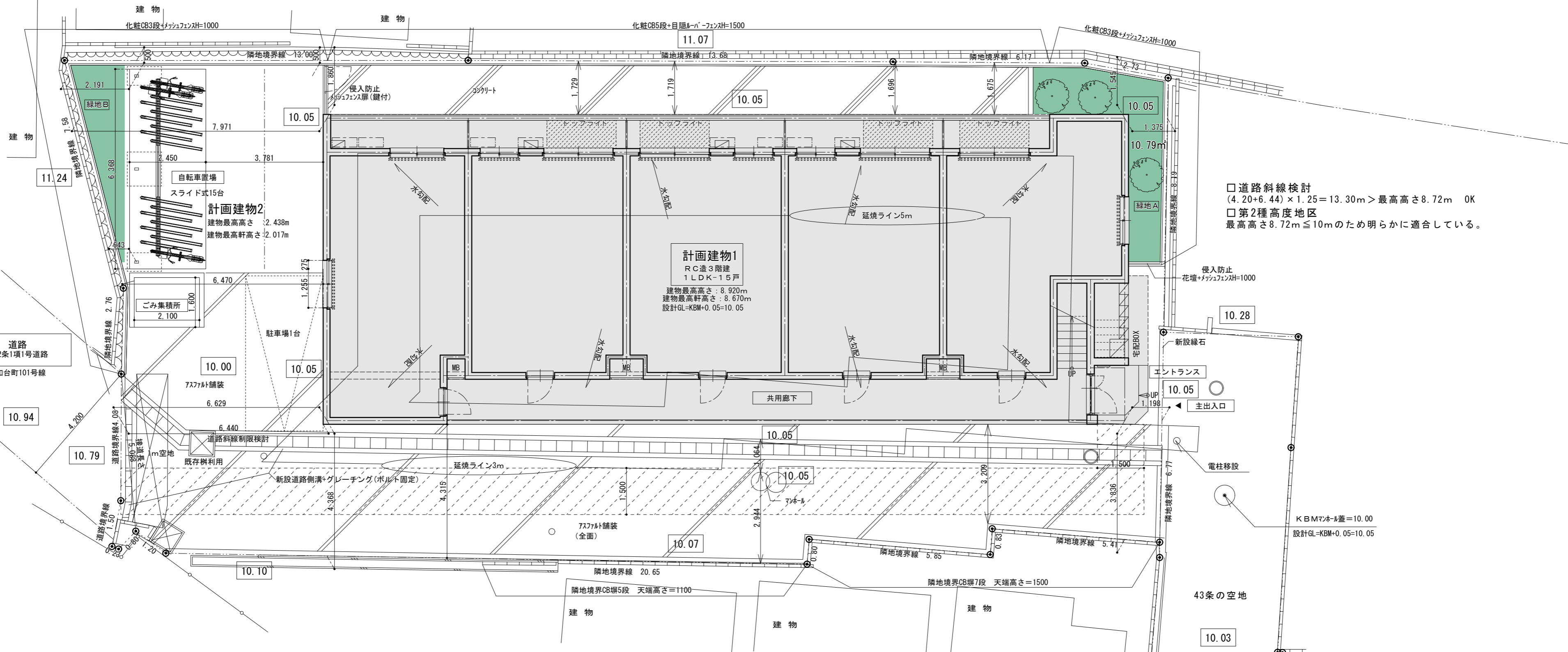
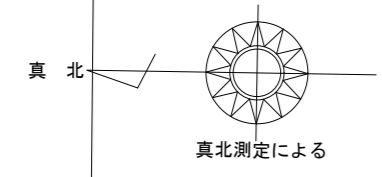
内部仕上表 (A・B・C・タイプ)

室名	下地	床	基準SL よりの床高	巾木	巾木高	壁		天井	天井高		備考
						外部に面する部分	その他の壁		一般階	最上階	
玄関	RC	300角 タイル	±0	塩ビソフト巾木	60	断熱材+厚9.5 <sup>φ</sup> 石膏ボード下地 ビニールクロス貼り		木下地+PB厚9.5 <sup>φ</sup> ビニールクロス貼り	2.220	2.420	下足箱トルタイプ (FL+450)
	木	厚9.5 <sup>φ</sup> 石膏ボード下地 ビニールクロス貼り									
廊下	RC	置床工法 下地合板t9 <sup>φ</sup> +塩ビタイルt3.0 <sup>φ</sup>	+120	塩ビソフト巾木	60	断熱材+厚9.5 <sup>φ</sup> 石膏ボード下地 ビニールクロス貼り		木下地+PB厚9.5 <sup>φ</sup> ビニールクロス貼り	2.100	2.300	上框 ファンシーバー
	木					厚9.5 <sup>φ</sup> 石膏ボード下地 ビニールクロス貼り					
LDK	RC	置床工法 下地合板t9 <sup>φ</sup> +塩ビタイルt3.0 <sup>φ</sup>	+120	塩ビソフト巾木	60	断熱材+厚9.5 <sup>φ</sup> 石膏ボード下地 ビニールクロス貼り		コンクリート打放補修 ビニールクロス貼り	2.375 (2,295) (A・Bタイプ キッチン)	2.300 (2,300) (キッチン)	キッチン:L=1,650 IH(2口) レンジフード 吊り戸棚(A、Cタイプ) アルミダクトφ150(鋼製スパイラルダクト) エアコン用スリーブ φ75(アルミキャップ付き) エアコン取付 1面:アクセントクロス 給気口 φ100(シック ベントキャップ・防虫網付き) 給気口 φ100(キッチン ベントキャップ・防虫網付き)
	木					厚9.5 <sup>φ</sup> 石膏ボード下地 ビニールクロス貼り					
	ガスコンロ廻りは火災予防条例に規定される不燃仕上げ(準耐火構造) 軽量鉄骨下地 + 厚15.0 <sup>φ</sup> 石膏ボード + キッチンパネル(不燃認定番号:NM-8127)										
洋室	RC	置床工法 下地合板t9 <sup>φ</sup> +塩ビタイルt3.0 <sup>φ</sup>	+120	塩ビソフト巾木	60	断熱材+厚9.5 <sup>φ</sup> 石膏ボード下地 ビニールクロス貼り		コンクリート打放補修 ビニールクロス貼り	2.375	2.300	エアコン用スリーブ φ75(アルミキャップ付き) ステンレス製カーテンレール(ダブル) ファンシーバー(B・Cタイプ) 給気口 φ100(ベントキャップ・防虫網付き) バルコニー側窓:シャッター(1階のみ) 室内物干掛け
	木					厚9.5 <sup>φ</sup> 石膏ボード下地 ビニールクロス貼り					
ウォークインクローゼット	RC	置床工法 下地合板t9 <sup>φ</sup> +塩ビタイルt3.0 <sup>φ</sup>	+120	塩ビソフト巾木	60	断熱材+厚9.5 <sup>φ</sup> 石膏ボード下地 ビニールクロス貼り		コンクリート打放補修 ビニールクロス貼り	2.375	2.300	ステンレスパイプ φ32・枕棚(H=1700、D=400)
	木					厚9.5 <sup>φ</sup> 石膏ボード下地 ビニールクロス貼り					
洗面化粧室	RC	置床工法 厚1.8クッションフロア貼 厚9合板下地	+120	塩ビソフト巾木	60	断熱材+厚9.5 <sup>φ</sup> 石膏ボード下地 ビニールクロス貼り		木下地+PB厚9.5 <sup>φ</sup> ビニールクロス貼り	2.100	2.300	洗面化粧台(W=750) 三面鏡・洗濯機パン(640×640) タオル掛け(ステンレス製 L=450) 納まりによりタオルリング
	木					厚9.5 <sup>φ</sup> 石膏ボード下地 ビニールクロス貼り					
トイレ	RC	置床工法 厚1.8クッションフロア貼 厚9合板下地	+120	塩ビソフト巾木	60	断熱材+厚9.5 <sup>φ</sup> 石膏ボード下地 ビニールクロス貼り		木下地+PB厚9.5 <sup>φ</sup> ビニールクロス貼り	2.100	2.300	トイレ / ウォシュレット タオル掛け(ステンレス製L=450) / ペーパーホルダー サニタリーBOX 天井換気扇2室用
	木					厚9.5 <sup>φ</sup> 石膏ボード下地 ビニールクロス貼り					
UBR	← ユニットバスルームによる (株)ハウステック同等品 UBR-1216 →								天井換気扇2室用 (強弱タイプ) / 追炊き機能付 浴室乾燥機付		
断熱工事 (詳細図参照)	1階床下(土間下)		押出法ポリスチレンフォーム(3種B)厚50 <sup>φ</sup> 防湿シート 厚0.15 <sup>φ</sup>			備考	最上階天井下地: 一部軽量鉄骨				
	外気に面する床		硬質ウレタンフォーム吹付け厚40mm(A種1H相当)				火気使用室(K: 壁・天井): ビニールクロス (準不燃:QM-9410)同等品 石膏ボード下地 厚9.5 <sup>φ</sup> (準不燃:QM-9828)同等品  内部仕上に使用する建材・家具・接着剤等は全てF☆☆☆☆認定品(又は告示対象外)を使用する				
	外気に面する壁	一般部分	石膏ボード 厚9.5 <sup>φ</sup> 硬質ウレタンフォーム吹付け 厚30 <sup>φ</sup> (A種1H相当) 熱橋折返断熱450 厚15 <sup>φ</sup> アキレス折返ボード打込								
		PS裏等の部分	硬質ウレタンフォーム吹付け 厚30 <sup>φ</sup> (A種1H相当)								
最上階天井裏		グラスウール 厚100 <sup>φ</sup> (24K) 全面 <sup>φ</sup> リフレクティム包既製品									
注意事項	<p>1. コンロ廻りは、コンロ側方150mm、上方1000mmの範囲及び、五徳から上方1000mm以内は消防長が指定した不燃材料とする。</p> <p>2. レンジフード・吊り戸棚は五徳から800mm以上離隔する。 (以上共通)</p> <p>3. コンロ台スペースには、上記「800以上離隔する旨」の注意書き(ステッカー等)付とする。</p> <p>4. ビニールクロスは、準不燃QM-9445以上とする。</p> <p>5. 給湯器と可燃物の離隔は機器の仕様による。</p> <p>6. 給湯器の吹出しと開口部・可燃物は上方300mm、側方150mm離隔を取る。</p> <p>7. 給湯器の排気トップは、1.8m以上とする。</p> <p>9. 浴室乾燥機を設ける場合は、ダクトと本体は可燃物とは接触させない。</p> <p>10. 厨房ダクトはスパイラルダクトとしロックウール厚50巻とする。</p> <p>11. 令126条の2 1項1号 (排煙ただし書)</p> <p>共同住宅: 200㎡以内に準耐火構造の床若しくは壁又は法2条第九号の二に規定する防火設備で区画</p>					<p>&lt;建築設備・その他&gt;</p> <p>1. 建築設備の構造は、平12建告第1388号に適合すること。</p> <p>2. 防火区画等を貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。</p> <p>3. 水道法第16条に規定する給水装置の構造は同施行令第5条の規定に適合すること。</p> <p>4. 下水道法10条1項に規定する排水設備の構造は同施行令第8条の規定に適合すること。</p> <p>5. 排水設備の構造は昭50建告1597号の規定に適合すること。</p> <p>6. 排水配管には有効な勾配を設けること。</p> <p>7. ガス栓の構造は昭56建告1099号の規定に適合すること。</p> <p>8. ガス消費設備の構造は、ガス事業法施行規則108条に適合すること。</p> <p>9. 防火ダンパーの構造及び設置方法は昭48建告2565号及び平12建告1376号に適合すること。</p> <p>10. ガス炊き給湯器の転倒防止対応(MB内でも)は告示1447号に適合すること。</p> <p>11. ガス炊き給湯器設置基準は壁掛け型(告示第1388号第5第三号)に適合すること。</p> <p>12. 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の2の規定が適用される供給設備に適合。</p>					



横浜市都筑区佐江戸町198 TEL(045)929-0150  
株式会社 クラスト横浜支店 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第18016号  
一級建築士登録 第239833号 齊藤 徹儒

製図	設計月日	工事番号	工事名	図名	仕上表(2)	図面番号
一級建築士	訂正月日	10146	(仮称)㈱ヴァーダントM様共同住宅新築工事	縮尺	内部	A / 3



□ 道路斜線検討  
 $(4.20+6.44) \times 1.25 = 13.30m > \text{最高高さ} 8.72m$  OK  
 □ 第2種高度地区  
 最高高さ  $8.72m \leq 10m$  のため明らかに適合している。

※敷地は茨木市内に設定されており、用途区域は全て第一種中高層住居専用地域である。

(仮称)株ヴァーダントM様共同住宅新築工事

建築計画概要書

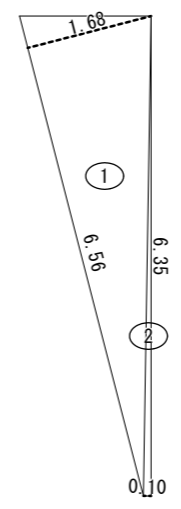
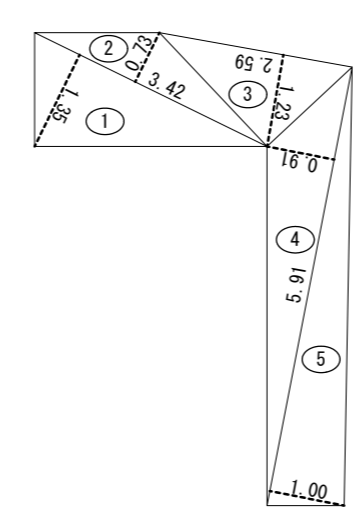
建築主	住所	大阪府茨木市中総持寺町16-1			
	氏名	株ヴァーダントM 代表取締役 向井 義美			
敷地の概要	建築場所	大阪府茨木市中総持寺町6-6、6-8の各一部			
	用途地域	第一種中高層住居専用地域			
	防火地域の指定	準防火地域			
	高度地区	第二種高度地区			
	指定建ぺい率	60%			
計画の概要	指定容積率	168%			
	前面道路の幅員	北側公道：4.2m			
	計画建物	鉄筋コンクリート造3階建共同住宅 15戸			
	面積表	敷地面積	537.48㎡		
		建築面積	279.44㎡	計画建ぺい率	→ 52.00%
延べ面積		579.84㎡	計画容積率	→ 103.75%	
	容積対象床面積	557.61㎡			

※自動車設置基準  
 単身者用共同住宅 15戸  
 駅周辺500m以内の地域  
 $15戸 \times 0.2 = 3台$   
 敷地内 1台  
 敷地外 2台  
 合計 3台

※自転車・単車保管場所の設置基準  
 単身者用共同住宅 15戸  
 必要台数=15戸(単身)×1台=15台  
 計画台数=15台 ≥ 15台 OK

※ごみ集積施設  
 単身者用共同住宅 15戸  
 必要面積=2㎡(4戸)+11戸×1人×0.1㎡=3.10㎡以上  
 計画面積=2.100㎡×1.60m=3.36㎡ ≥ 3.10㎡ OK

※公園等(開発区域面積500㎡以上1000㎡未満)  
 単身者用共同住宅 15戸  
 緑化空地必要面積=(1人×15戸)×1.0㎡=15.0㎡以上  
 必要植栽=高木6㎡/本=3本  
 必要植栽=中木1㎡/本=0本  
 必要植栽=低木0.25㎡/本=0本  
 計画植栽=高木3本(18.0㎡) ≥ 15.0㎡ OK  
 計画面積=10.79㎡(緑地A)+5.82㎡(緑地B)=16.61㎡ ≥ 15.0㎡ OK



番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	3.42	1.35	4.6170	2.30850
2	3.42	0.73	2.4966	1.24830
3	2.59	1.23	3.1857	1.59285
4	5.91	0.91	5.3781	2.68905
5	5.91	1.00	5.9100	2.95500
合計				10.79370
敷地面積				10.79 m <sup>2</sup>

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	6.56	1.68	11.0208	5.51040
2	6.35	0.10	0.6350	0.31750
合計				5.82790
敷地面積				5.82 m <sup>2</sup>

切盛土なし



横浜市都筑区佐江戸町198 TEL(045)929-0150  
 株式会社 クラスト横浜支店一級建築士事務所 神奈川県知事登録第18016号  
 一級建築士登録第239833号 齊藤 徹備

製図	設計月日	工事番号	工事名	図名	土地利用計画図	図番番号
一級建築士	訂正月日	10146	(仮称)株ヴァーダントM様共同住宅新築工事	配置図		A/5
				縮尺	1:100	

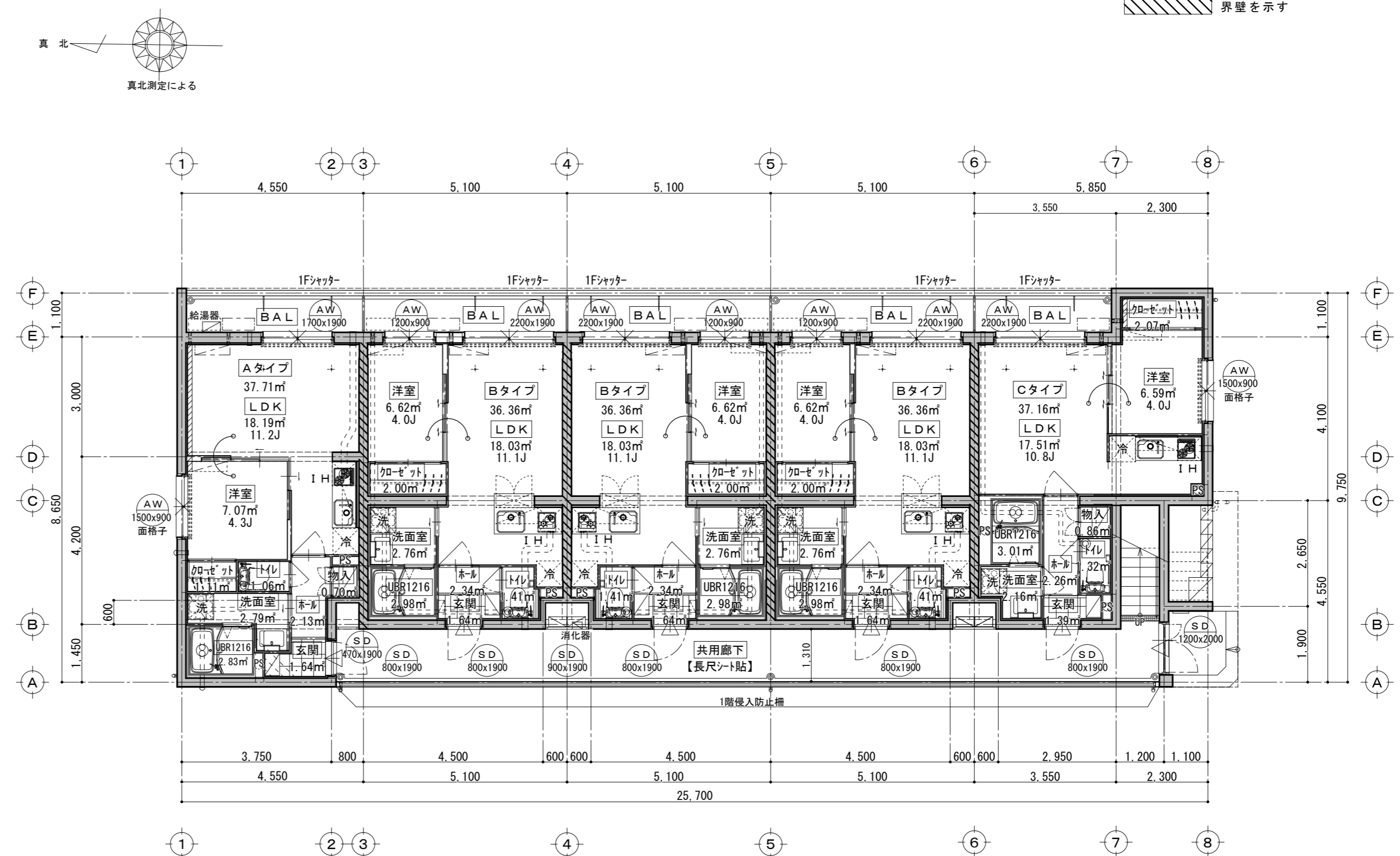
凡例 (各階共通)

	防火区画を示す
	延焼の恐れのある部分
	建築基準法施行令第112条に規定する特定防火設備 (常時閉鎖式) 告示1369号 遮煙性能 告示2564号
	建築基準法第2条第9号のニに規定する防火設備 (アルミサッシ 厚6.8mm網入ガラス) (鉄製建具 板厚0.8mm以上1.5mm未満)
	台所 レンジフード 鋼製スパイラルダクト 150φ (ロックワール 厚50mm巻き) (延焼の恐れのある部分はFD付)
	壁付 給気ガラリ 100φ SVC付 (共用廊下 150φ)
	浴室 天井扇 鋼製スパイラルダクト 100φ SVC付 (24時間換気対応型) (強弱タイプ)
	トイレ 換気ガラリ 鋼製スパイラルダクト 100φ
	天井付換気扇 鋼製スパイラルダクト 100φ
	LD・洋室 壁付 給気ガラリ 100φ SVC付
	消火器 (歩行距離20m以内ごとに設置)
	手摺 (I型) を示す
	非常用照明 20W (電池内蔵型) 床面で2ルクス以上確保のこと

※ 界壁に垂直に交わる外壁部において界壁を跨いで900mm未満の部分にφ100以上の開口部を設ける場合はFD付とする  
 ※ フード 延焼の恐れのある部分はSUS製・FD付きとする

特記事項

- 1: PS及びMB内の床はコンクリート打ちスラブとし水平区画する。配管の区画貫通部分はモルタル詰めとする。
- 2: ガスコンロ廻り及びダクト廻りは火災予防条例に規定される不燃材仕上げ (準耐火構造) とする。
- 3: レンジフード・吊戸棚の下端からゴトクまで800以上とし、レンジフードに接する吊戸棚の側面・底面は不燃材とする。
- 4: ガスコックはヒューズコック付とする。(告示1099号に準じる)
- 5: 界壁は耐火構造とし (RC壁厚180・PS部分壁厚100) 小屋裏又は天井裏まで達するものとする。また、遮音構造は告示1827号に準じる構造とする。
- 6: ケーブルが防火区画を貫通する場合、貫通部分両側1m以上を鋼製電線管において耐熱シール充填処理する。(大臣認定工法に準拠)
- 7: ドルゴ通気弁設置のPSには、メンテナンス用の点検口を設置。
- 8: 給湯器と可燃物の隔離は機器の仕様による。
- 9: 給湯器の吹き出し口は、側方150mm、上方300mm以上開口部から隔離し、高さは床面から1800mm以上とする。
- 10: 消火器は、ABC粉末10型を各階1本 (計5本) 設置。
- 11: 各住戸の排煙設備は令126-2-1-1 (住戸は200㎡以内) を適用する。(告示1436号に準じる)
- 12: 階段室、EV室の排煙設備は令126-2-1-3 を適用する。
- 13: UBRの給気は ドア部給気ガラリ、トイレ・ユーティリティの給気は ドア部分アンダーカット とする。
- 14: 非常用進入口は S46.12.03 住建発 85の特例
- 15: 各バルコニーの隔板は厚5mmケイカル板とし、非常の際には容易に破壊し避難できるものとする。幅600mm以上、高さ800mm以上、床面から150mm以下 (避難時一両面貼り)
- 16: 2階以上のバルコニーに面しない腰窓には、落下防止用手摺をFL+1.200の位置に設ける。



室名	腰・壁	天井
LDK 洋室	コンクリート打放し ビニルクロス貼 厚9.5mm石膏ボード下地 ビニルクロス貼	コンクリート打放し ビニルクロス貼
	準不燃 (認定品)	準不燃 (認定品)
	石膏ボード (認定番号:QM-9828) ビニルクロス (認定番号:QM-9410)	

各住戸キッチンの火気換気計算 (都市ガス、2ロコンロ)

$V = 30KQ$   
 $= 30 \times 0.93 \times 6.40 = 178.56 \text{ m}^3/\text{h}$   
 ダクト長さ: 約8.09m 風量: 約500  $\text{m}^3/\text{h}$   
 $V = 178.56 \text{ m}^3/\text{h} < 500 \text{ m}^3/\text{h}$

※ 火源とフード下端は1m以下とする。

有効巾	910 mm
けあげ	190 mm
踏面	240 mm
手摺 (出90 mm以下)	

タイプ	階	室名	居室床面積	必要面積	有効面積	判定
A	1~3	LD	18.19	1.27	1.70×1.90×0.5= 1.61	OK
		洋室	7.07			
B	1~3	LD	18.03	1.24	2.20×1.90×0.5= 2.09	OK
		洋室	6.62			
C	1~3	LD	17.51	1.21	2.20×1.90×0.5= 2.09	OK
		洋室	6.59			

住戸専有面積 (バルコニーを除く)

住戸タイプ	専有面積
Aタイプ	37.71 m <sup>2</sup>
Bタイプ	36.36 m <sup>2</sup>
Cタイプ	37.16 m <sup>2</sup>
	m <sup>2</sup>
	m <sup>2</sup>

株式会社 クラスト  
 横浜市都筑区佐江戸町198 TEL (045) 929-0150  
 株式会社 クラスト横浜支店 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第18016号  
 一級建築士登録 第239833号 齊藤 徹備

製図	設計月日	工事番号	工事名	図名	1階平面図	図番番号
一級建築士	訂正月日	10146	(仮称)株ヴァーダントM様共同住宅新築工事	縮尺	1:100	A/8

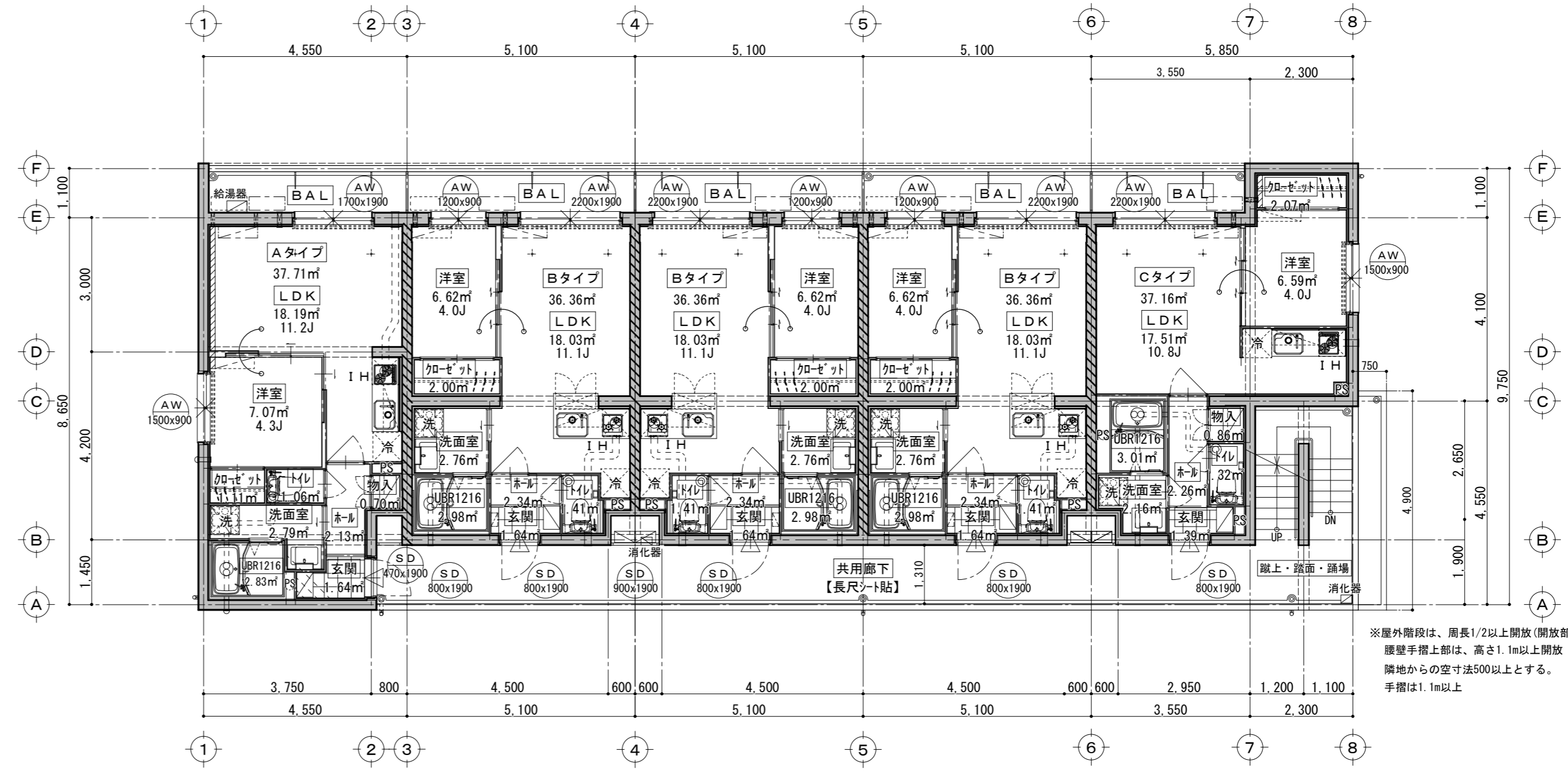
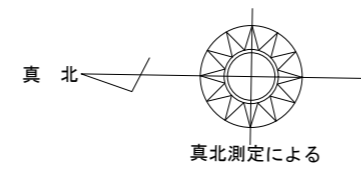
凡例 (各階共通)

	防火区画を示す
	延焼の恐れのある部分
	建築基準法施行令第112条に規定する特定防火設備 (常時閉鎖式) 告示1369号 遮煙性能 告示2564号
	建築基準法第2条第9号の二に規定する防火設備 (アルミサッシ 厚6.8%, 網入ガラス) (鉄製建具 板厚0.8mm以上1.5mm未満)
	台所 レンジフード 鋼製スパイラルダクト 150φ (ロックワール 厚50%, 巻き) (延焼の恐れのある部分はFD付)
	壁付 給気ガラリ 100φ SVC付 (共用廊下 150φ)
	浴室 天井扇 鋼製スパイラルダクト 100φ SVC付 (24時間換気対応型) (強弱タイプ)
	トイレ 換気ガラリ 鋼製スパイラルダクト 100φ
	トイレ 天井付換気扇 鋼製スパイラルダクト 100φ
	LD・洋室 壁付 給気ガラリ 100φ SVC付
	消火器 (歩行距離20m以内ごとに設置)
	手摺 (I型)を示す
	非常用照明 20W (電池内蔵型) 床面で2ルクス以上確保のこと

※ 界壁に垂直に交わる外壁部において界壁を跨いで900mm未満の部分にφ100以上の開口部を設ける場合はFD付とする  
 ※ フード 延焼の恐れのある部分はSUS製・FD付きとする

特記事項

- 1: PS及びMB内の床はコンクリート打ちスラブとし水平区画する。配管の区画貫通部分はモルタル詰めとする。
- 2: ガスコンロ廻り及びダクト廻りは火災予防条例に規定される不燃材仕上げ(準耐火構造)とする。
- 3: レンジフード・吊戸棚の下端からゴトクまで800mm以上とし、レンジフードに接する吊戸棚の側面・底面は不燃材とする。
- 4: ガスコックはヒューズコック付とする。(告示1099号に準じる)
- 5: 界壁は耐火構造とし(RC壁厚180・PS部分壁厚100)小屋裏又は天井裏まで達するものとする。また、遮音構造は告示1827号に準じる構造とする。
- 6: ケーブルが防火区画を貫通する場合、貫通部分両側1m以上を鋼製電線管において耐熱シール充填処理する。(大臣認定工法に準拠)
- 7: ドルゴ通気弁設置のPSには、メンテナンス用の点検口を設置。
- 8: 給湯器と可燃物の隔離は機器の仕様による。
- 9: 給湯器の吹出し口は、側方150mm、上方300mm以上開口部から隔離し、高さは床面から1800mm以上とする。
- 10: 消火器は、ABC粉末10型を各階1本(計5本)設置。
- 11: 各住戸の排煙設備は令126-2-1-1(住戸は200㎡以内)を適用する。(告示1436号に準じる)
- 12: 階段室、EV室の排煙設備は令126-2-1-3を適用する。
- 13: UBRの給気は ドア部給気ガラリ、トイレ・ユーティリティの給気は ドア部分アンダーカット とする。
- 14: 非常用進入口は S46.12.03 住建発 85の特例
- 15: 各バルコニーの隔板は厚5%ケイカル板とし、非常の際には容易に破壊し避難できるものとする。幅600mm以上、高さ800mm以上、床面から150mm以下(避難時両面貼り)
- 16: 2階以上のバルコニーに面しない腰窓には、落下防止用手摺をFL+1,200の位置に設ける。



※屋外階段は、周長1/2以上開放(開放部分は2㎡以上)  
 腰壁手摺上部は、高さ1.1m以上開放  
 隣地からの空寸法500以上とする。  
 手摺は1.1m以上



横浜市都筑区佐江戸町198 TEL(045)929-0150  
 株式会社 クラスト横浜支店 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第18016号  
 一級建築士登録 第2398333号 齊藤 徹備

製図	設計月日	工事番号	工事名	図名	2階平面図	図番番号
一級建築士	訂正月日	10146	(仮称)株ヴァーダントM様共同住宅新築工事	縮尺	1:100	A/9

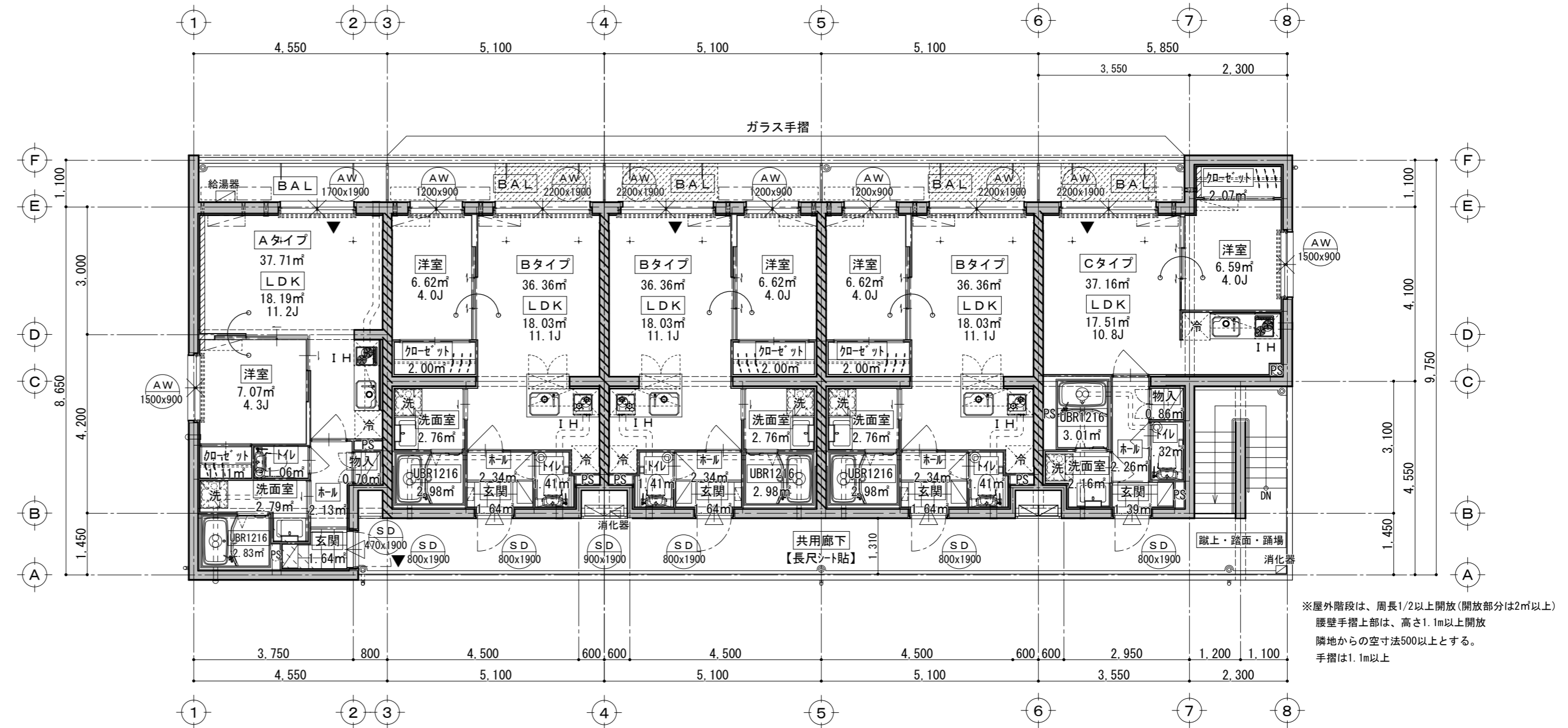
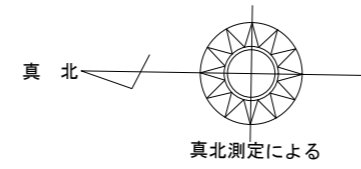
凡例 (各階共通)

	防火区画を示す
	延焼の恐れのある部分
	建築基準法施行令第112条に規定する特定防火設備 (常時閉鎖式) 告示1369号 遮煙性能 告示2564号
	建築基準法第2条第9号のニに規定する防火設備 (アルミサッシ 厚6.8%, 網入ガラス) (鉄製建具 板厚0.8mm以上1.5mm未満)
	台所 レンジフード 鋼製スパイラルダクト 150φ (ロックワール 厚50%, 巻き) (延焼の恐れのある部分はFD付)
	壁付 給気ガラリ 100φ SVC付 (共用廊下 150φ)
	浴室 天井扇 鋼製スパイラルダクト 100φ SVC付 (24時間換気対応型) (強弱タイプ)
	トイレ 換気ガラリ 鋼製スパイラルダクト 100φ
	トイレ 天井付換気扇 鋼製スパイラルダクト 100φ
	LD・洋室 壁付 給気ガラリ 100φ SVC付
	消火器 (歩行距離20m以内ごとに設置)
	手摺 (I型) を示す
	非常用照明 20W (電池内蔵型) 床面で2ルクス以上確保のこと

※ 界壁に垂直に交わる外壁部において界壁を跨いで900mm未満の部分にφ100以上の開口部を設ける場合はFD付とする  
 ※ フード 延焼の恐れのある部分はSUS製・FD付きとする

特記事項

- 1: PS及びMB内の床はコンクリート打ちスラブとし水平区画する。配管の区画貫通部分はモルタル詰めとする。
- 2: ガスコンロ廻り及びダクト廻りは火災予防条例に規定される不燃材仕上げ (準耐火構造) とする。
- 3: レンジフード・吊戸棚の下端からゴトクまで800以上とし、レンジフードに接する吊戸棚の側面・底面は不燃材とする。
- 4: ガスコックはヒューズコック付とする。(告示1099号に準じる)
- 5: 界壁は耐火構造とし (RC壁厚180・PS部分壁厚100) 小屋裏又は天井裏まで達するものとする。また、遮音構造は告示1827号に準じる構造とする。
- 6: ケーブルが防火区画を貫通する場合、貫通部分両側1m以上を鋼製電線管において耐熱シール充填処理する。(大臣認定工法に準拠)
- 7: ドルゴ通気弁設置のPSには、メンテナンス用の点検口を設置。
- 8: 給湯器と可燃物の隔離は機器の仕様による。
- 9: 給湯器の吹出し口は、側方150mm、上方300mm以上開口部から隔離し、高さは床面から1800mm以上とする。
- 10: 消火器は、ABC粉末10型を各階1本 (計5本) 設置。
- 11: 各住戸の排煙設備は令126-2-1-1 (住戸は200m以内) を適用する。(告示1436号に準じる)
- 12: 階段室、EV室の排煙設備は令126-2-1-3 を適用する。
- 13: UBRの給気は ドア部給気ガラリ、トイレ・ユーティリティの給気は ドア部分アンダーカット とする。
- 14: 非常用進入口は S46.12.03 住建発 85の特例
- 15: 各バルコニーの隔板は厚5%ケイカル板とし、非常の際には容易に破壊し避難できるものとする。幅600mm以上、高さ800mm以上、床面から150mm以下 (避難時両面貼り)
- 16: 2階以上のバルコニーに面しない腰窓には、落下防止用手摺をFL+1,200の位置に設ける。

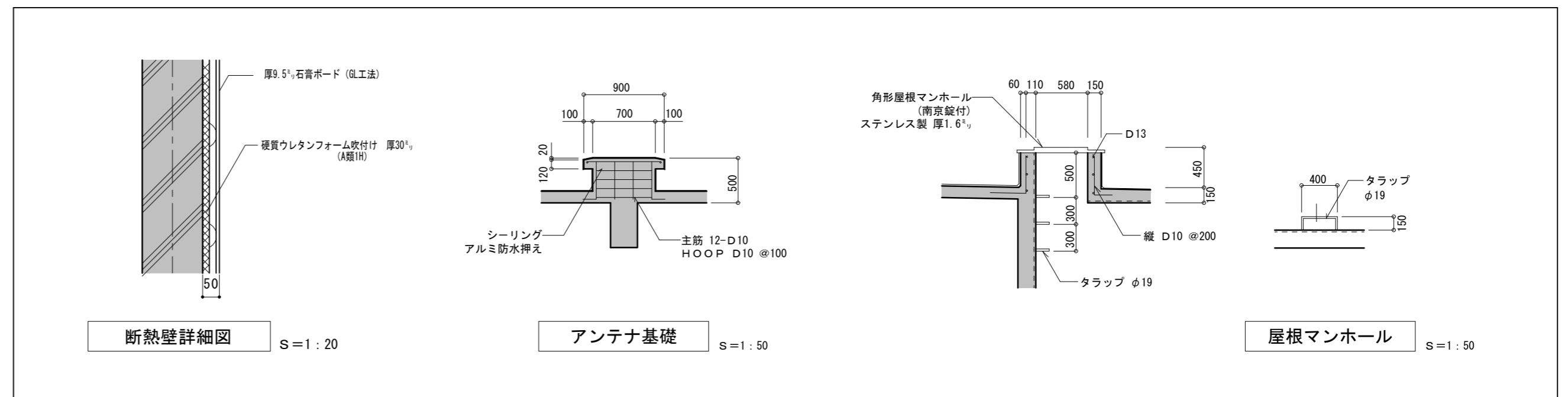
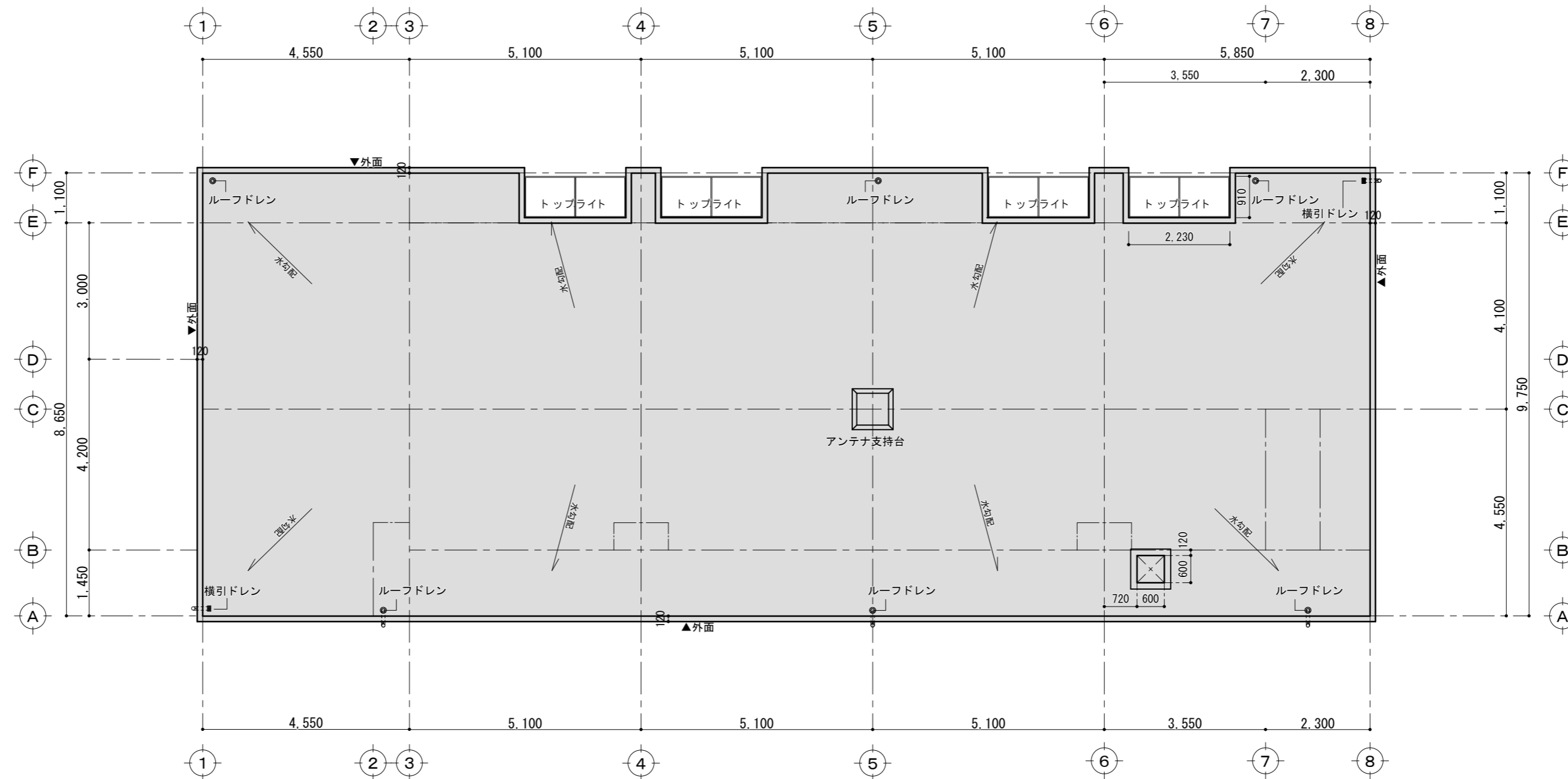
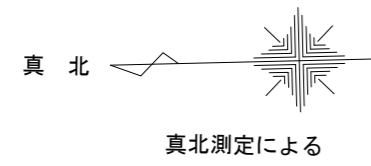


※ 屋外階段は、周長1/2以上開放 (開放部分は2m以上) 腰壁手摺上部は、高さ1.1m以上開放 階地からの空寸法500以上とする。手摺は1.1m以上



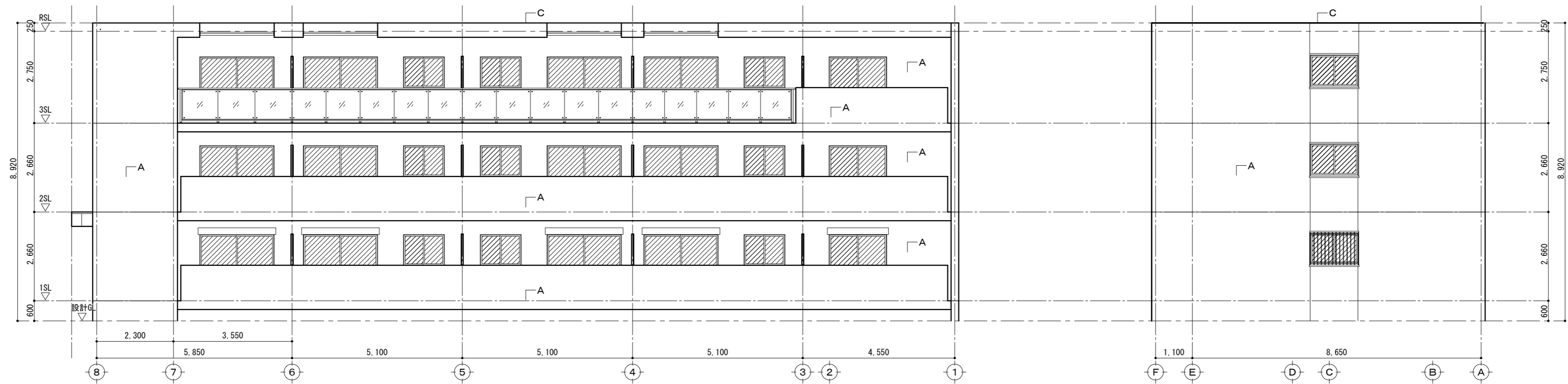
横浜市都筑区佐江戸町198 TEL (045) 929-0150  
 株式会社 クラスト横浜支店 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第18016号  
 一級建築士登録 第239833号 齊藤 徹備

製図	設計月日	工事番号	工事名	図名	3階平面図	図番番号
一級建築士	訂正月日	10146	(仮称)株ヴァーダントM様共同住宅新築工事	縮尺	1:100	A/10



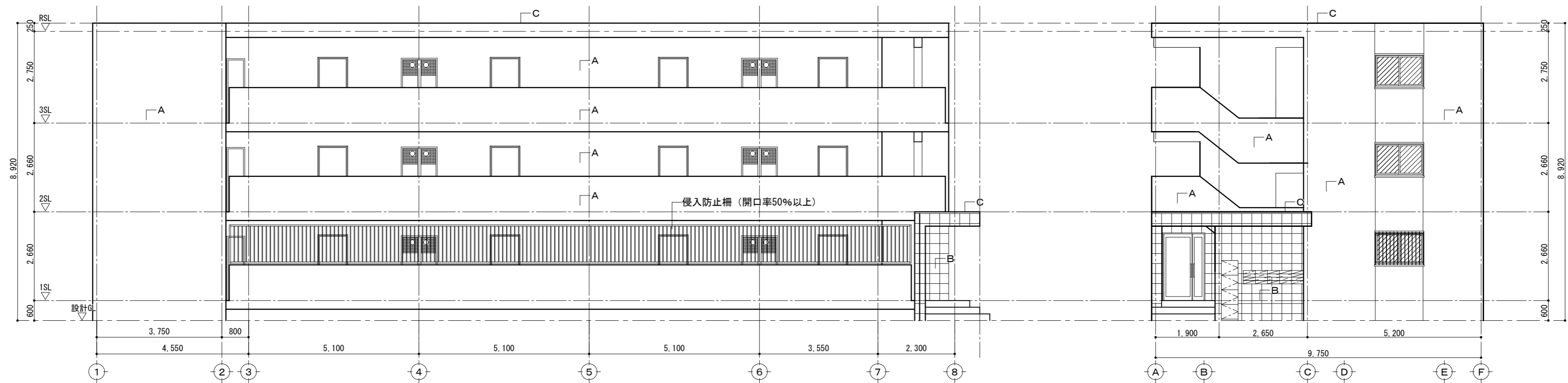
横浜市都筑区佐江戸町198 TEL (045) 929-0150  
 株式会社 クラスト横浜支店一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第18016号  
 一級建築士登録 第239833号 齊藤 徹儒

製図 一級建築士	設計月日		工事番号 10146	工事名 (仮称)株ヴァーダントM様共同住宅新築工事	図名	屋根伏図	図面番号	
	訂正月日				縮尺	1:100	A/11	



東立面図 S=1:100

北立面図 S=1:100



西立面図 S=1:100

南立面図 S=1:100

仕上凡例

A	コンクリート打放し補修 吹付タイル	B	コンクリート打放し補修 タイル貼り (仕様要打ち合わせ)	C	コンクリート打放し補修 シート防水 厚1.2 <sup>mm</sup>	法第2条第9号の2による防火設備 (アルミサッシ 厚6.8 <sup>mm</sup> 網入ガラス)
---	----------------------	---	---------------------------------	---	---	---



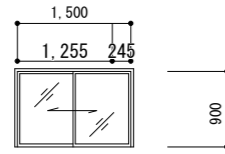
横浜市都筑区佐江戸町198 TEL (045) 929-0150  
 株式会社 クラスト横浜支店 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第18016号  
 一級建築士登録 第239833号 齊藤 徹儒

製図	設計月日	工事番号	工事名	図名	立面図	図面番号
一級建築士	訂正月日	10146	(仮称)株式会社ヴァーダントM様共同住宅新築工事	縮尺	1:100	A / 12



採光の検討 (1/7)

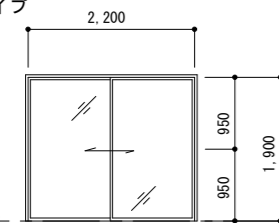
Aタイプ



FL



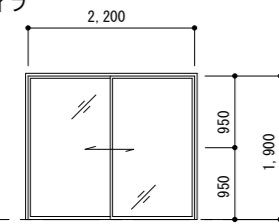
Bタイプ



FL



Cタイプ



FL



(単位: m)

Aタイプ	階	室名	床面積	床面積合計	必要面積	有効面積	判定
採光	1~3	LDK	18.19㎡	25.21㎡	3.61	②1.255×0.90×3.00=3.38 0.275×0.90×1.96=0.48 計 3.86	OK
		洋室1	7.02㎡				

採光検討③ ※2階以降は1階と同タイプのため検討省略  
 採光補正係数 = 6.470 / 6.750 x 6 - 1.4 = 3.00 (W=1,255部分)  
 採光補正係数 = 3.781 / 6.750 x 6 - 1.4 = 1.96 (W=275部分)

(単位: m)

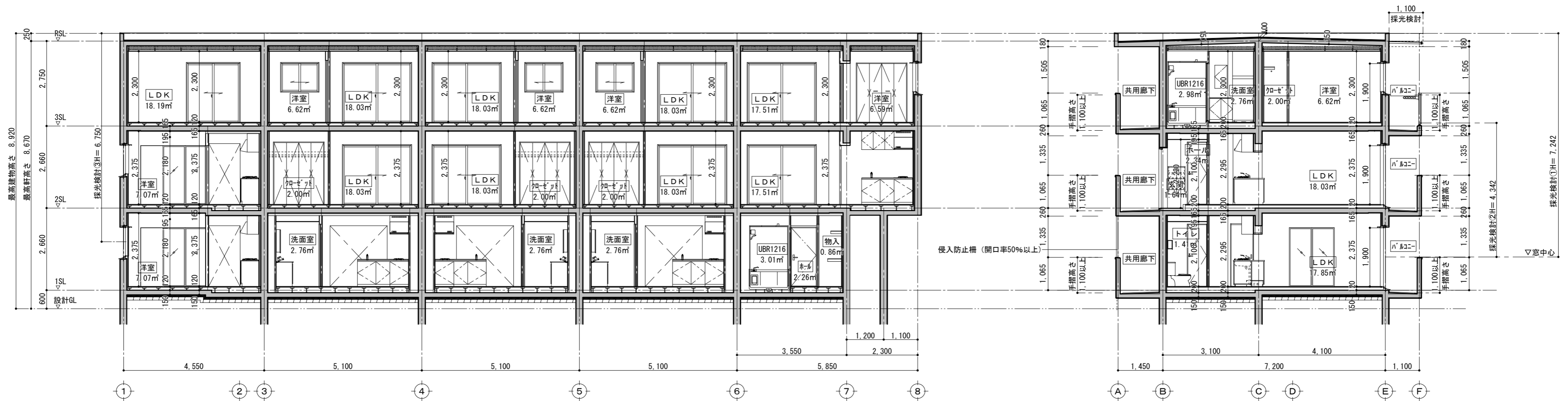
Bタイプ	階	室名	床面積	床面積合計	必要面積	有効面積	判定
採光	1~3	LDK	18.03㎡	24.65㎡	3.52	①2.20×1.90×0.91=3.80	OK
		洋室1	6.62㎡				

採光検討① ※2階以降は1階と同タイプのため検討省略  
 採光補正係数 = 2.796 / 7.242 x 6 - 1.4 = 0.91  
 採光検討②  
 採光補正係数 = 1.696 / 4.342 x 6 - 1.4 = 0.94  
 以上より採光算定対象窓は全て採光補正係数0.91とする。

(単位: m)

Cタイプ	階	室名	床面積	床面積合計	必要面積	有効面積	判定
採光	1~3	LDK	17.51㎡	24.10㎡	3.44	①2.20×1.90×0.89=3.72	OK
		洋室1	6.59㎡				

採光検討① ※2階以降は1階と同タイプのため検討省略  
 採光補正係数 = 2.775 / 7.242 x 6 - 1.4 = 0.89  
 採光検討②  
 採光補正係数 = 1.675 / 4.342 x 6 - 1.4 = 0.91  
 以上より採光算定対象窓は全て採光補正係数0.89とする。



横浜市都筑区佐江戸町198 TEL (045) 929-0150  
 株式会社 クラスト横浜支店 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第18016号  
 一級建築士登録 第239833号 齊藤 徹備

製図	設計月日	工事番号	工事名	図名	断面図	図面番号
一級建築士	訂正月日	10146	(仮称)株ヴァーダントM様共同住宅新築工事	縮尺	1:100	A / 13